

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・6月くらいから下取りセールをそれぞれの関連アイテムだけでやっていたが、8月は紳士、婦人、子供という多くの枠のなかで下取りセールを行い、非常に多くの客が来店している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・タスポ効果でたばこが売上が引っ張っていたが、今は一般の商品も売上が増加してきている。客単価が109%、客数が107%と引き続き好調である。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・エコポイント効果で対象商品が伸びている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・夏物のクリアランスの消化状況も悪くはなく、今までの落ち幅よりもやや上向いており、3～7月までの春夏商戦では、14%ほどマイナスであったが、今月は1けたのマイナスに止まっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・7月に引き続き来客数が前年比120%以上で推移している。また、客単価も先月比で4%上昇していることから、身の回りの景気は上向きになりつつあると判断する。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・2、3か月前と比べると、売上高は上向きだが、タスポ効果が無くなり、販売量は前年比で10%も落ち込んでいる。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・景気も回復傾向にあり、一時の景気不安も落ち着き、お盆休み等での国内消費が高まっている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・状況が良いわけではないが、少し物件の引き合いが増えてきている。まだアパート等についてはあまり良くないが、テナント関係については若干問い合わせが増えてきている。ただ、これもデフレで金額の安い物件のみが先行しているようである。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・高速道路料金引下げの効果で週末中心に人出はあるが、消費が伴っていない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・夏物バーゲンも毎年来店する客は来てくれたものの、店頭に掲示を見て入店する客は全くなく、売上も上向きにはならない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今月も安価な品がいくらか動く程度である。資金繰りが非常に悪く、滞留品が増加するばかりである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・週末が雨のため、夏休み中の行事である納涼祭や花火大会に人がなかなか集まらない。デフレ傾向に向かっている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・スカッとした夏ではなく、夏物の動きが悪いが、ギフトの動きは良い。一部の人気商品は売れているが、全体の売行きは悪い。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・7月は近隣商業施設オープンの影響があり、やや良くなっている感があったが、8月はまた衣料品を中心に厳しい結果となっている。
百貨店（販売促進担当）		販売量の動き	・引き続き食料品以外は厳しい。ファッション関連は、秋物への移行期にあるが取り立てて目立った動きもなく厳しい。	
スーパー（総務担当）		販売量の動き	・食品や住まいの調度品等の必需品関係については、半年前からほぼ横ばいの状況であるが、衣料品については、数か月に渡って前年を大きく下回る状況が続いている。特に8月が良いとか悪いということはない。	
スーパー（統括）		単価の動き	・来客数は昨年並みに戻りつつあるが、もやし9円、豆腐29円等のように食品の1点当たりの単価の落ち込みに歯止めが掛からず、売上、利益共に厳しい。	
コンビニ（店長）		お客様の様子	・お盆過ぎには戻らと思ったが、若干、戻りが遅い。今のところ、全体の景気としてやや悪い気がするが、本当に困ったような状況は見受けられず、工事関係が若干入っているのので何とか補てんしている。景気自体は客の様子を見るとそんなに変わらない。	
衣料品専門店（統括）		販売量の動き	・お盆までは各地で夏祭りが多くあったが、そういった祭りもほとんど終わり、消費が大分減って来ている。	
家電量販店（店長）		単価の動き	・既存ベースで見るとまだまだ厳しい。前年比で95%前後である。エコポイントの商品については単価が上昇している。	

家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・半導体関連の企業の販売実績が回復しない。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく販売が不振なので、ミニ展示会を毎月やっているが、月を追うごとに来客数が減少している。夜、訪問販売で家庭を回っているが、選挙目当てと思われるっており、芳しくない。店頭への来客数も減っている。
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・以前は展示会を行うと販売は伸びなくても来客数は望めたが、最近は展示会を行っても、来客数がない。目玉で安い商品を紹介したり、景品をあげるといっても、来客数は増えない。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・販売量の動きと単価が共に下がったまま動きが無い。
住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・夏物に関しては8月に入っても消化状況が芳しくなく、その他商品の販売単価の低下傾向も変わらない。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・県外客は昨年より伸びているが、地元客の動き、予約件数共に減少である。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・競合店からも夜の来客数が非常に少ないという話を聞いており、まだまだ景気の回復は鈍い。
観光型ホテル（営業担当）	単価の動き	・高速道路料金引下げの影響により、マイカー客が大幅に増加しているが、客単価は下がっており、客数の伸びの割りに売上が上がらない。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・9月と10月は大きな団体、国際会議、スポーツ大会等がある。予定通り開催されれば、若干上向いてくる。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型インフルエンザ拡大が、また報道されるようになってきたので、方面によっては旅行を控える客が出てくるのが想定されており、申込の控えも目立ってきている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響で取消しや変更になった客が戻ってこない。また、一般、団体の貸切共に、参加状況が例年に無く悪い。
タクシー運転手	販売量の動き	・夜間の流し営業は相変わらず苦戦している。飲食店からの依頼は少なく、回復の兆しが見えてこない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・7月あたりから中小製造業の一部に仕事量が多少戻りつつあるとの話も聞かれるようになってきているが、その程度で企業の業績が目立って良くなるわけでもなく、当然社員への跳ね返りも全くない。また、地域の果樹や野菜は6、7月の日照不足の影響もちらほらと聞かれるようになり、警戒感からか財布のひもはますます固くなっている。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・リゾートコースでありながら、涼しさをアピールできず、集客に大変苦労している。相変わらず、客単価は落ちる一方である。
競輪場（職員）	お客様の様子	・来客数、購買単価共に前年同月割れが続いている。
その他レジャー施設「アミューズメント」（職員）	来客数の動き	・24時間のアミューズメントパークだが、ひところは明け方の3時から4時で客が切れたが今は5時から5時半ごろまで客がいる。深夜帯の客の増加が見受けられる。ただ、店全体では増えているわけではなく、朝は客が少なくなっているため、総じて若干プラスというところである。
その他サービス「立体駐車場」（従業員）	単価の動き	・前月並びに前々月と比較して若干だが単価は約3%上向いており、来客数についても若干上向きに転じている。しかし、全体の売上はまだ良くなっていない。
その他サービス「フィットネスクラブ」（マネージャー）	お客様の様子	・客は、仕事の休みが多く、収入が減っていると言っている。また、残業がカットされ、5時過ぎから客が利用しているところからも、景気は変わらない状況と判断している。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・現在手掛けている仕事は結構時間が掛かるため忙しいが、他の仕事で声が掛からない。来客による相談などの話はほとんど無い。
設計事務所（所長）	来客数の動き	・相談、打ち合わせの来客数は多いが、契約に至るまでの確率は相変わらず低い。忙しいだけで、効率が悪い。
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・景気が回復しているという実感がなく、客の動きも極めて悪い状況である。
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・特に大きな変化はないが、顧客の動きは鈍い。

	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売価格を下げた目玉となる物件には申込があっても、通常価格のものは見向きもされない。
やや悪く なっている	一般小売店〔家電〕 (経営者)	お客様の様子	・エコポイントは家電業界にとっては追い風になるかと思われたが、結局は経済的に余裕のあるところの購入に止まっている。消費者は何事に対しても出費を控えたい様子で、商品の動きは鈍く、商売としては厳しい。
	一般小売店〔青果〕 (店長)	販売量の動き	・必要な物以外は本当に売れない。特に、果物は天気が悪かったせいで味も悪く売れない。
	スーパー (経営者)	単価の動き	・食品の購買意欲が低単価に移行している。
	スーパー (総務担当)	販売量の動き	・旧盆商品の動きが特に顕著だが、土産、ごちそうの動きが悪い。
	コンビニ (経営者)	単価の動き	・来客数は維持しているが、買上点数が下がる傾向は止まらない。
	自動車備品販売 店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が通常より少ない。無駄な行動を抑えたり、金を使うことを抑える傾向にある。
	住関連専門店 (開発業務責任者)	販売量の動き	・夏物の落ち込みが大きく、前年並みの来客数であるが1人当たり買上点数が大きく低下している。
	スナック (経営者)	来客数の動き	・6月ぐらいに良くなりそうな感じがあったが、どんどん悪くなっている。安くしても簡単には来店してもらえない状況が続いており、より厳しくなっている。
	観光型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・相変わらず売上が前月を下回っている。
	旅行代理店 (支店長)	お客様の様子	・個人旅行が動く月であるが、海外はもとより国内旅行も動かない。例年後半にかけての動きがあるが、総選挙の影響があるのか、直近の予約もなく終わっている。個人旅行、法人共に厳しい。
	通信会社 (経営者)	お客様の様子	・9月からの秋の商戦に対し、例年であれば8月から販促物のデザイン等の依頼が営業を掛けずとも激増するが、今年度はこちらから営業を掛けてもなかなか受注に至らない。得意先の話では、景気の悪さで販促費のねん出が出来ないとのことである。
	テーマパーク (職員)	販売量の動き	・以前は、飲食等で人数分の購入をしていたが、半分になるなど、購買力の低下が見られる。
	美容室 (経営者)	来客数の動き	・美容院の固定客が少しずつ減ってきているので、売上が悪くなっている。良い話が出て来ないので、定額給付金の効果もあまり上がっていない。
その他サービス 〔自動車整備業〕 (経営者)	お客様の様子	・車検整備の入庫量が、今月12%減少している。第一四半期、若干上向いたが、ここ2か月間で前年を大きく下回った。古い車両の入庫量が、幾分減少し始めている。	
設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・新築は減っており、改修なども価格が大幅に低下している。	
設計事務所 (所長)	来客数の動き	・先月に比べ、情報量が少ない。	
悪く なっている	商店街 (代表者)	お客様の様子	・減税や補助金により、一部商品の販売が良かったが、以前の状態に戻り、引締めが一段と厳しくなっている。
	一般小売店〔衣料〕 (経営者)	販売量の動き	・観光地であるので、車社会の低迷で観光業が悪くなってきたのは大変なことである。
	スーパー (経営企画担当)	来客数の動き	・先月末、市内に大型ショッピングセンターがオープンし、来客数、売上共に影響を受けている。
	コンビニ (店長)	来客数の動き	・買上単価もかなり低下している。
	衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・大手衣料品専門店や大手スーパーによる安価なジーンズなどの販売がマスコミ等で報道されているが、小売店にはそのような価格では仕入れることが不可能で、販売できなくなっている。
	衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・冷夏のため、夏物のセール品、また初秋の売上が極端に悪く、売上が30%減少している。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・不況に加えて、新型インフルエンザの感染拡大や、総選挙、東名高速の通行止めなどで、夏休みの行楽客やディナータイムの宴会予約が激減している。
	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・天候不順と総選挙で来客数、販売量の減少が進み、高速道路料金引下げでファミリー客の流出が大きい。
	スナック (経営者)	来客数の動き	・客の様子やますます競争相手も増えていることなど、不安材料ばかりである。

		観光型ホテル（経営者）	それ以外	・景気の底打ち感はあるものの、雇用と消費意欲が低下している。自社は前年比でプラスに転じることができたが、宿泊業界全般をみると概ね前年割れである。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・現在、地方都市においては、景気の底だと思うが、あわせて、現在、総選挙の関係で、サービス業においては売上が伸びない。人も動かない。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・客の中で景気の良い業種が無くなってきた。昨年まで黒字だった会社が、今期は見通しが立たないと嘆いている。秋の慰安旅行の仕入れ時期だが、旅行の話ができない。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・全体的に動きが悪く、前年比で22%の減少である。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・売上が前年比8%減である。月ごとに見ても5年前との比較で、毎月20%は減っている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・受注が確実に減っている。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・仕事量が増え、帰休等をしなくても済むようになってきている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の仕事で北米や中国向けが好調で、期間限定ではあるが当社にも応援要請が来ており、対応を検討中である。建機関連の仕事も力強さはないが動きが出てきている。今年の初めからの臨時休業を今月から取り止めている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が多少なりとも出て来て、底打ち感が出たという気がするが、長期的な受注ではなく、単発の受注が多い。これは景気対策による受注である。設備の関連でも国主体の設備で例年、年間10～20件だったものが、一度に50件来ている。景気対策の一環として仕事が回って来たと考えている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・8月の受注、出荷関係については前年比80%近くまで戻っており、3か月前の5月と比べ、徐々に良くなっている。少しずつ景気が回復している。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・ものづくり中小企業製品開発等支援補助金の採択が決まり9月から7か月間、通常の生産営業活動と重なるため、当分その上乘せ分も忙しくなる。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	取引先の様子	・取引先があまり良くないという話を聞いている。4店舗あるうち、2店舗を閉めるのでやや悪くなってきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・若干受注が動き出したが、単発で継続しない。休業補償に頼っている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量、販売量の動き、取引先の様子等はあまり良い方向には向かっていない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・業況は相変わらず悪く、特に8月の落ち込みは厳しい。お盆休みの店頭はガラガラで、商品委託の要望さえ無い。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候不順により、特に夏場の家電商品、レジャー商品、青果等の不作もあり、輸送量、依頼量は減っているが、エコポイント、エコカー減税等に関する製造業の荷動きは良く、全体的には前年を少し下回っている。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・受注状況や金額については、ここずっと厳しい状態が続いているので、景気は良くなったとは感じないと取引先の担当者が話している。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の様子からすると、大企業についてはいろいろなお金を使うという面も多少見受けられるが、小企業や個人についてはあまり変わらず、逆に使わない傾向もあるので、良くなっているという感じには見えない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・取引先の事業所が最低賃金より少し高い月給で求人を出したところ、結構応募がきたということである。
	やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・夏本番で数量が確保できるはずが、天候不順で思ったよりも伸び悩んでいる。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メインの商品がまるで売れず、壊滅的である。本業以外の仕事を行い、売上の確保に努めているが、焼け石に水である。

		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ 8月はお盆休みの関係で稼働日数が少ないために、受注量、販売量が例月より下がっている。そういう意味で、今はあまり良い状況とは言えない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・ 考えられないような価格を提示する会社が出ている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・ 夏の天候不順もあってか、夏物衣料の売行きがかなり落ちている。消費者の買い控えや低価格指向も相当進んでいる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ 雨が多く、暑い日が少なかった影響は衣料品関係や飲食業に出ている。夏物衣料の動きは鈍く、秋物以降に期待するということや、ビアガーデンは開店休業状態が続き、暑さが戻っても取り返すまでには至らなかったと聞いている。チラシ出稿量は、総選挙関連チラシが約5%を占めたものの、前年比92.7%と低迷している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・ ものづくり中小企業製品開発等支援補助金など、助成金類への申請が殺到している。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・ 自己破産等の後ろ向きの仕事はある程度あるが、本来ある前向きの仕事は減少している。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・ 店頭販売商品及び特注品受注共に動きが大変少なくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ メインの客先のフルモデルチェンジを控えているため、既存の機種在庫調整が行なわれており、受注量は減少している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ 夏の販促としての折込チラシの発注が前年比で3割減っている。販促予算を投入しても集客が悪いとあきらめている物販店や飲食店が増えている。
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・ 製造業は、業種により、派遣を復活する兆しがある。
		人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・ 短期を中心に、新規契約が増加している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・ 製造業を中心に週休3、4日の地元中堅企業も多く、景気の先行きは依然厳しい。他業種も求人企業は極端に少ない。求人広告に掲載する企業は1年前の30%ぐらいである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 新規求人数は、前年比で42.2%の減少で、前月比6.4ポイント悪化しており、求人の減少傾向には歯止めが掛からない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 21年7月新規求人数は、6月より微増であるが、前年比で減少が続き、有効求人倍率も最低水準が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ 求人数は少ない。募集で目立つのは、飲食、食品小売であり、それ以外の製造関係は、3か月前と同様に少ない。
		人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・ 仕事の量が少なく、仕事が出ても期間がとても短い。売上も落ちている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・ 有効求職者数が増加傾向にある。前年同月比で58.2%の増加を示し、景気はやや悪くなっているようである。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・ 求人社数が前年度から比較して半減している。県内の有効求人倍率の0.4を下回る状況であり、非常に厳しい。新卒求人体制を立て直しているが一向に良ならない。
	悪くなっている	-	-	-